

京都革新懇

No197 会員ニュース 2008年 9月5日 発行

日本の平和と民主主義・革新統一をめざす京都の会
http://www.kyoto-kakushikon.net

〒606-8397
京都市左京聖護院川原町4-13 教育会館別館
TEL/FAX共用 075-724-8270

全国革新懇の 3つの共同目標

日本の経済を国民本位に
転換し、暮らしが豊かにな
る日本をめざします。
日本国憲法を生かし、自
由と人権、民主主義が発
展する日本をめざします。
日米安保条約をなくし、
非核・非同盟・中立の平
和な日本をめざします。



地域・職場・青年革新懇京都活動交流会

日時 9月13日(土) 午後1時～4時30分頃
会場 平安会館ホール(1F)

講演 「日本の医療の再生を求めて」
長瀬文雄氏

全国革新懇常任世話人・全日本民医連事務局長

特別報告

乙訓革新懇 梅林照夫氏

交流懇親会 4時30分～ 平安会館3階



長瀬文雄氏

交通案内・地図 平安会館へ

「地域・職場・青年革新懇全国交流会」 in 奈良市

「全国交流会」の日程・企画

志位委員長が講演 林家いっ平さん出演

自公政治がゆきづまりを深め、政治の根本的変革が国民の声になりつつある情勢のもと、全国革新懇は「民主的政権への国民的共同＝革新懇運動の前進にスピードと広がりをも」と、全国交流会へのとりくみを強めています。

同交流会では日本共産党の志位和夫委員長が講演するほか、「青年のつどい」に落語家の林家いっ平さんが出演。青年が多数参加する交流会をめざしています。

革新懇交流会の日程・企画は次のとおりです。

10月18日(土) 午後1時～4時 会場・奈良県文化会館

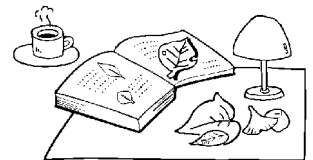
全体会(講演・志位和夫日本共産党委員長、活動報告・交流)

全体会終了後、午後5時15分から「革新懇・青年のつどい」(落語家・林家いっ平さん)

10月19日(日) 午前9時～正午 会場・奈良県文化会館他

分散会(地域、職場、青年)

青年分散会では「志位和夫さんを囲む青年のつどい」も開催。



京都革新懇 8月6日 街頭宣伝



京都革新懇は8月6日に街頭宣伝を京都タワー前・四条大宮・熊野神社前で行いました。

京都革新懇からは、谷内口代表世話人、野口事務局長、越智事務局長次長が、また、民青、新婦人、民医連、母親連絡会、京教組などの団体からも訴えをしていただきました。

67名の方の呼びかけで、6月29日「憲法9条京都の会発足のつどい」

金閣寺・銀閣寺住職の有馬頼底さんや作家の瀬戸内寂聴さんらの呼びかけで、6月29日「憲法9条京都の会発足のつどい」がシルクホールで開かれ、会場にあふれる千人以上の人々が参加しました。

つどいは呼びかけ人の紹介から、憲法9条を守り生かす府内の団体・個人のネットワークとして「憲法9条京都の会」の発足が確認されました。

その後、鶴見俊輔さんが「9条に寄せる私の想い」と題して記念講演を行い、「勇ましい声で飾るのではなく、自らの蝸壺のなかから、憲法、9条の理想に向かって声を出し続けたい。」等と話しました。

つづいて、安斎育郎さん、瀬戸内寂聴さん、鶴見俊輔さんの三名が鼎談(ていだん)を行いました。

「戦争反対の声が政治化されようとしているなかで、我々はしっかりと声を出さなければいけない。今、全国に七千を超える9条の会ができ、戦後第四の平和の盛り上がりが起きている。みんながやるからではなく、自分の社会をよくしたいという想いと責任で運動することが必要。一人ひとりが、今日の話などを知人に伝えよう。」と訴えました。

(農林・京都の会第25号ニュースより抜粋)

「日本の平和・民主・革新の日本とくらしよい南区をめざす会」

南区革新懇結成

「日本の平和・民主・革新の日本とくらしよい南区をめざす会」(南区革新懇準備委員会)は10日、南区革新懇決起集会を開催しました。学習決起集会では清水良一南区革新懇代表があいさつのあと、今、南区でたたかわれる京都市議南区補選候補のさの春枝候補の決意表明がありました。同準備委員会は、現在25名の方々の賛同を得て8月3日に立ち上げたものです。

「新たな政治情勢のもと蓮新脈打つ京都 どう革新懇運動を前進させるか」と題して京都革新懇事務局長の野口昭一さんから講演をうけ、その後意見交換をしました。

南区革新懇の藤原元幸事務局長から、発足にいたるまでの経過と南区で革新懇運動の必要性など報告。

会場からはとなりの人が元郵便局長で郵政事業春の同窓会(懇親会)があり、その中で自民党の郵政事業のいかりがだされ、もう自民党は応援しない、南区の医師でこれまで自民党を応援してきたが、高齢者の医療制度など怒りが沸騰、「今回からは自民党を支援しない」という話が紹介されました。

今、南区民の中で生活苦難などのもので、自民党離れが起きている、そういう層に南革新懇がよびかけるとき、懇談会など企画していこう、など意見が出されました。

山科革新懇、西・右京革新懇から連帯のメッセージが紹介されました。

南区革新懇事務局長
藤原元幸



久保田さんの思い出を語り合う会

7月6日(日)午後 鴻の巣会館

2月18日逝去された代表委員・久保田壹重郎さんの思い出を、22人の参加で語り合い、温かく優しい人柄とかかわってこられた多くの運動への情熱を感じました。

数多くの絵画サークルを指導し、日本国内だけでなく、中国・韓国などでも励んで居られた平和美術活動。現役時代の組合運動・地域の障害者施設の理事、そして革新懇の活動。地域で企画した中国旅行では、毎回違う画材でスケッチ。食事の時は楽しく痛飲。そして、ちょっぴり高所恐怖症。心臓の具合がよくない時があるなど内緒でした。

いつも笑顔で、元気づけ、励ましてくださった「ほめ屋」「いっちゃん」。思い出を語り合いながら、心温まるひと時を過ごしました。

くらし・民主・平和をまもる城陽懇話会
事務局長 岡本 やすよ

「全国革新懇第28回総会発言より」
**再建から一年「全国革新懇
 ニュース」1部から5部へ**

野原 孝喜（京都「革新・山科の会」事務局長）

5月25日に第八回の総会を終えて、再建後の一年を振り返ってみれば、全国の活動を交流会や「全国革新懇ニュース」で学び、何とか頑張ってきました。

この一年の活動を振り返って思うことは、山科の文化と芸術の潤う街、住んでよかったと思える町づくりをどうしたらできるかをいつも考えて進めてまいりました。

最初にとりくんだのは、京都市長選挙の候補者である中村弁護士さんに山科に来ていただいて、参議院選挙直前でしたが語る会をおこないました。中村さんの京都市政、職員の不祥事、同和問題などの思いや、中村さんの人柄もよくわかり、一人でも多くの方に知ってもらおうとパンフレットを作成しました。

次に改憲の動きが参議院選挙の結果弱くなったといえ、三年後には可能である限り運動を強めていくことが大切と、九月に映画「日本の青空」の上映を計画しましたが、山科母親大会と重なり、会場の関係などで十二月六日になりました。平日の夜で困難な条件でしたが、山科平和を守る会と共同して実行委員会をつくり、手づくりの映画会に二百五十人が参加して成功することができました。

一月十四日には懇談会を、四月二十日に「山科・戦争の爪痕を訪ねて」をおこないました。山科の三つのお寺の慰霊碑・殉国碑や、穴を開けて材質を調べてみると、開祖遍昭の銘があり、戦後お寺に返却された梵鐘や蓮如上人の立像跡では向かいの人が供出前の貴重な写真をもってこられ、お話を聞き、山科の文化と歴史を知る第一歩になりました。

この間、革新・山科の会は後援会、平和ネット、山科平和を守る戦争展をはじめ、他団体のとりくみにも積極的に参加しました。

これらの活動ができたいくつかの良かったこと
 全国革新懇とのつながりを強める。「全国革新懇ニュース」の普及、パンフレット・ステッカー・チラシの活用。総会・全国交流会への参加。

伊勢崎賢治さんの講演会

6月22日に行われ、200人を超える人が参加

22日に行われた伊勢崎賢治さんの講演会には、200人を超える人が参加。南舞鶴9条の会の佐藤紀夫さんの開会あいさつに続き、伊勢崎さんが講演しました。9つの軍閥が群雄割拠するアフガニスタンでの武装解除の活動に参加した経験を踏まえ、戦争は絶対にしてはいけないこと、起こってしまった戦争・紛争を早く終わらせるためには、国連などのイニシアチブで武装解除をはじめ安定した政府を確立することが不可欠だとし、その武装解除では戦争はしない 戦力を保持しない 憲法を持つ日本が、最も大きな役割を果たしていると強調。「護憲」の運動は、自衛隊の海外派兵の対案としての「9条を守る」にとどめないで、現実に行っている紛争解決に9条を生かして貢献する、という 覚悟（観点）が必要なのではないか、と問題提起しました。参加者からは「紛争解決の現場を経験している人の話で重みがあった」「アフガニスタンの現状がよく分かった」「紛争解決の武装解除に憲法9条をもつ日本が大きく貢献していることがよく分かった」などの感想が寄せられました。



京都革新懇との協力。ニュースの普及、交流会や会議に参加、澤地久枝・香山リカ講演会の成功。過去の反省から役員会を毎月定例におこないました。革新・山科の会のニュースの発行。担当者の協力で隔月発行が九回できました。「全国革新懇ニュース」十六部から五十人部へ（会員）。毎月減らさず増勢とこだわりをもって（拡大袋をつくり、また「革新懇って」のチラシに返送用のハガキをつけて配布など）。役員（忙しい人ですが革新懇を大切に）。共産党地区委員会の協力。会議の場所など。まだまだ活動の広がりになっていない。ことしの目標は会の広がりを強めて、だれもが参加できる基礎づくりをしていきたいと思えます。

京都革新懇地域代表者会議の報告

- ・ 9月13日京都交流会、10月全国交流会の成功にむけたとりくみについて。
- ・ 京都市内・南部（8月20日 京都市内にて）
 - ・ ・南、左京、右京、西京、北上、宇治、城陽が参加。
- ・ 北部代表者会議（8月21日 福知山市内にて）
 - ・ ・綾部、丹後、舞鶴が参加。



京都交流会・全国交流会にむけて、地域・職場革新懇の再開状況について。

4月京都革新懇定期総会、9月京都交流会、10月全国交流会にむけて、多くの地域革新懇で、「10数年の休眠状態」を克服して、再開の努力が積みあげられてきています。

この間、西京革新懇が昨年5月に、右京革新懇が6月に再開総会を開き活動を再開しました。8月には、南革新懇（8月10日）が結成され、そして伏見革新懇（10月）、宇治・久御山革新懇（10月）、中京革新懇（10月）が再開総会を予定しています。さらに、下京、舞鶴、福知山、綾部などで再開準備の相談と動きが始まっています。

地域代表者会議（南部）報告

8月20日（水）かもがわ会館で地域代表者会議が行われました。

野口事務局長からは、9月13日の京都交流集会と10月奈良での「全国交流会 開かれることが報告された。

右京では6月25日に再開総会が開かれ35名が参加。伏見では10月をめどに再開したく準備中。

南は事務局が30人を超える役員を要請中。

京都の交流会は昨年以上の参加者集めたい。

全国交流会は奈良県で行われるので京都から多くの派遣したい（100名以上参加）

出席者からの発言・報告・交流

・ 城民懇の岡本さん 事務局と運営委員の合同会議で、京都の交流会と全国交流会に城陽は京都にも奈良に近いので10名以上は参加させたいと報告されました。全国や京都革新懇のことを知ることがあまりなく、久保田さんをしのぶ会に参加された野口事務局長が

らの話で革新懇の活動がよくわかった気がしたと言われました。

・ 宇治・久御山では事務局ががんばって再開にむかって過去の世話人90名に連絡し10月ごろには再開したいと報告されました。

・ 右京では映画会（蟹工船）を計画・企画したり、もっと右京知りたいや、右京の町をどうするか話しあっていると報告。

・ 西京では、毎月世話人会と事務局会議を一緒にやっている。会議は夜に行っています。現在29名の会員を100名にしたい。

・ 左京では、18回目の総会を今年おこないました。運営会議には10名が参加し企画して映画会を開催するが、300名以上が参加しないと赤字になるのでそうならないように人を集めていきたいとの発言。

京都の革新懇の会員拡大と全国ニュースを府下隅々に広げることを申し合わせました。



京都革新懇では、230冊を目標に現在、普及、活用中です。

政治の根本的変革
 全国革新懇第28回総会記録集
 頒価 500円

ホームページ

<http://www.kyoto-kakusinkon.net>

地域・職場革新懇の活動紹介
 会議・交流会・講演会などの紹介
 ニュース・出版物紹介